



マルチクライアントスタディ
「2008年国内POD市場動向の分析と予測」
企画書

2008年6月

株式会社インフォトレンドズ

「2008 年国内 POD 市場動向の分析と予測」のご案内

株式会社インフォトレنز

株式会社インフォトレنزより、マルチクライアントスタディ「2008 年国内 POD 市場動向の分析と予測」の調査企画をご案内させていただきます。

マルチクライアントスタディ「2008 年国内 POD 市場走行の分析と予測」は、昨年の「2007 年国内 POD 市場動向の分析と予測」に引き続き、印刷ビジネスに携わるさまざまなプレイヤーに対してきめ細かい調査を実施してオンデマンドプリンティング市場の現状を把握し、今後どのような発展傾向がみられるかを分析するものです。

POD 市場の今後の拡大については異論がない所ですが、国内では本格的な市場展開が始まった段階です。本レポートでは、さらにデジタル印刷の付加価値を高め、情報発信手段としてデジタル印刷物を利用する企業の発展に寄与し、市場拡大を推進するためには、どこに着目してなにを行ったらよいのか、を様々な切り口から解説いたします。

本年は印刷業界において世界最大のコンファレンスである、Drupa2008 が 6 月に開催され、ここで最新の印刷関連機器、ソリューションなどが数多く発表されました。本レポートのトピックとして、Drupa2008 における最新情報もご紹介して解説を加えます。

さらに今後の POD ビジネスの着目点として、オフセット印刷とデジタル印刷との比較検討、インクジェットプリンタと電子写真プリンタとの比較検討、に焦点を当てて、将来の展望をおこないます。

なお本年から POD 市場規模と予測については、半期ごとに見直しを行います。本編のレポートをご契約いただいたお客様には、市場規模と予測のアップデート情報を本年末にご提供する予定となります。

「2008年国内POD市場動向の分析と予測」調査企画書

1. 調査概要

調査範囲：

- POD市場規模と予測（ベンダーの動向）
 - 業務用デジタル印刷機器販売台数、販売金額、稼働台数
 - インプレッションボリューム（A4換算の出力イメージ数）
 - 消耗品、サービス別の売上金額（稼働機器数からの推定値）
- 国内印刷業の全般的市場動向（印刷物、印刷サービス）
- デジタル印刷の普及状況、印刷物の動向
- POD関連ビジネスの動向

調査対象：

- 印刷物や印刷サービスを提供する企業、
- 業務用デジタル印刷機や関連するソリューションを提供する企業
（市場定義については、巻末に資料を添付します。）

報告書の提供：

- 2008年8月にPOD市場規模と予測、印刷業の動向、関連トピックの報告書（本編）を発行後、12月（予定）に市場規模予測のアップデート報告書を提供します。
- 以下が、2つの報告書の内容です。

本編報告書タイトル：

「国内POD市場動向の分析と予測：2006年～2007年の実績と2008年～2012年の予測」

報告内容（予定）：

1. 2006年～2007年のPOD市場
 - POD市場環境の変化
 - 社会環境の変化
 - デジタル印刷技術の進展
 - 2006年～2007年のPOD市場

- ハイエンドカラーデジタル機市場のベンダーシェア
- 2 . 2008 年～2012 年の POD 市場規模予測
 - 市場拡大要因、抑制要因のまとめと POD 市場全体の概要
 - POD デジタル印刷機市場規模と予測：販売台数、販売金額
 - POD セグメント別デジタル印刷機市場規模と予測：販売台数、累積設置台数、販売金額、サービス / 消耗品販売金額
 - 3 . デジタルプリンタ / 複写機ベンダー各社の動向
 - 主要 10~15 社
 - 4 . プリントサービスプロバイダー分析
 - 2007 年印刷業界動向
 - 印刷業種別のデジタル印刷機導入状況
 - 5 . Drupa2008 レポート
 - 展示会における新製品、新技術の紹介、解説
 - 主要ベンダー出展内容の紹介
 - Drupa 以降の POD ビジネス展望
 - 6 . POD 市場展望：オフセットからの移行と共存
 - POD とオフセット印刷との比較
 - SWOT 分析による POD とオフセット印刷の特徴点の比較
 - 印刷ボリュームと売上高の比較と予測
 - 印刷コストの変化
 - POD とオフセットの共存のための効果的なアプローチ
 - 7 . POD 市場展望：プロダクションインクジェットプリンタの可能性
 - インクジェットプリンタと電子写真プリンタの比較
 - (印刷コスト、画質、生産性、用紙対応、後加工への対応)
 - インクジェットプリンタ導入の目的
 - トランスプロモへの適応性
 - プロダクションインクジェットプリンタと電子写真プリンタの市場予測

市場規模のアップデート報告書タイトル：

「国内 POD 市場動向の分析と予測:2008 年上半期 POD 市場アップデート」

報告内容（予定）：

- 1．2008 年上半期 POD 市場動向
- 2．2008 年～2012 年の POD 市場規模予測
 - 2008 年 POD 市場規模アップデート
 - 市場拡大要因、抑制要因のまとめと POD 市場全体の概要
 - POD デジタル印刷機市場規模と予測：販売台数、販売金額
 - POD セグメント別デジタル印刷機市場規模と予測：販売台数、累積設置台数、販売金額、サービス/消耗品販売金額

2 . 調査実施方法

1 次調査 :

● 主要プレイヤーへのインタビュー調査

主なインタビュー調査対象とインタビュー予定件数

- ・ 印刷サービスプロバイダー、インプラント：10～15 社
- ・ POD デジタル印刷機、オフセット印刷機ベンダー、関連ソフトウェア主要ベンダー：15～20 社
- ・ その他（後処理機器、印刷関連製品ベンダー等）：5 社程度

2 次調査による情報収集 :

- ・ 文献の調査
 - 関連企業の財務公開情報
 - 政府関連機関による統計資料
 - 業界関連機関によるデータ
 - Web 上の各メディアによる発表情報
- ・ その他、インフォトレンズ社による既存調査結果の活用

3 . 成果物と納品形態

調査結果分析報告書一式.(以下を含む)

1. Word 形式の報告書 (PDF)
2. Excel 形式の POD 製品、プリントボリューム、サービス市場規模データ(PDF)
3. PowerPoint 形式の調査結果サマリーのプレゼンテーションスライド (PDF)

また報告書のハードコピー配布はご要望により提供いたしますが、印刷料金が発生いたしますので、担当者に相談ください。

(注：アップデート版報告書の成果物は、1 と 2 のみになります。)

オンサイトプレゼンテーション：1 回

- 本編報告書提出終了後に、調査結果の要点についてプレゼンテーションを実施します。なお、2 回以上のプレゼンテーションは有料対応となります。

フォローアップ インクワイアリーサービス：報告書納品後 1 ヶ月間の提供です。

4 . プロジェクトスケジュール

- ・ 調査項目詳細決定：2008年6月中
- ・ 調査開始：2008年6月
- ・ 2008年6月～7月：インタビュー取材、データ/情報収集
- ・ 2008年7月～8月：データ分析、市場分析、フォーキャスト作成等
- ・ 2008年8月末：最終報告書納品
- ・ 2008年9月：プレゼンテーションサマリー納品
- ・ 2008年9月中旬以降：調査結果のプレゼンテーション実施（日時は要相談）
- ・ 2008年11月～12月：2008年上半期市場調査
- ・ 2008年12月末：市場規模と予測アップデート版報告書納品（予定）

5 . 参加費用

価格： ¥1,800,000（消費税別）

* 早期申し込み割引として2008年7月18日までに参加お申し込みをいただいた場合は、
¥1,530,000（税別）とさせていただきます。

* なおマルチクライアントスタディであるため、報告書の一部販売は出来かねますのでご
了承ください。

POD 市場定義：

* 本レポートにおけるデジタル印刷機器分類と印刷市場分類は、InfoTrends 社 が全世界で採用する以下のセグメンテーションと市場カテゴリ(印刷サービスプロバイダのカテゴリ)をベースとし、国内市場の状況を踏まえて分析します。

• デジタル印刷機セグメント

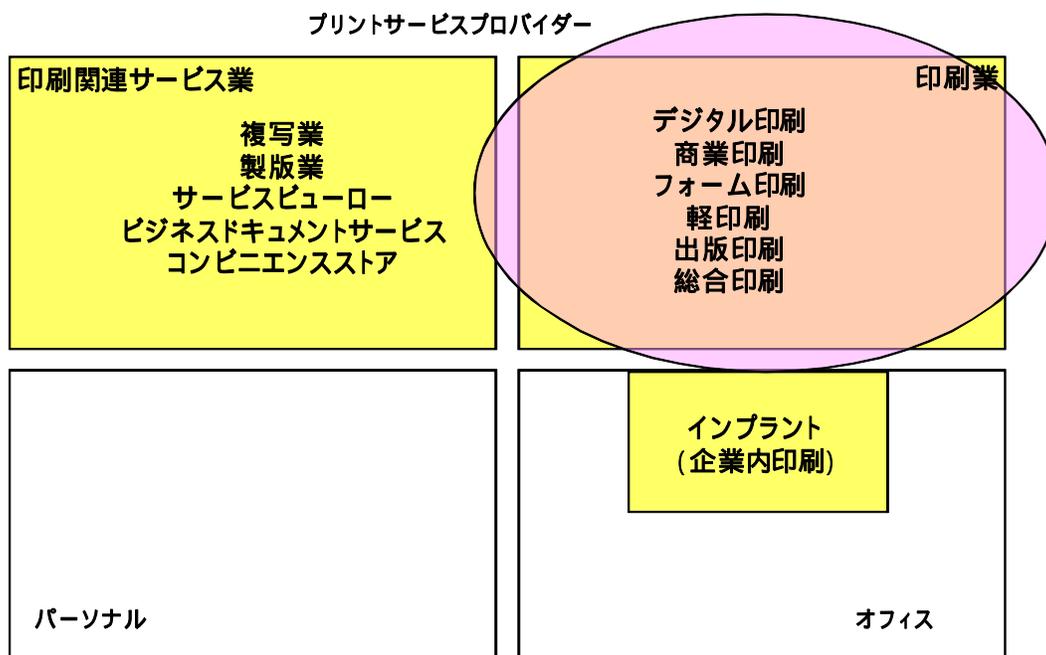
(MFP：複写機ベースの複合機)

カラー対応 (デジタルコピー/ プリンタ および プリンタ)	給紙	印刷速度帯	機能分類
モノクロ	カット紙	70 – 90 ppm 91 – 105 ppm 106 – 134 ppm 135 – 199 ppm 200+ ppm	MFP プリンタ
	ロール紙	<200 ipm 200-499 ipm 500+ ipm	プリンタ
スポットカラー	カット紙	70 – 90 ppm 91 – 105 ppm 106 – 134 ppm 135 – 199 ppm 200+ ppm	MFP プリンタ
	ロール紙	<200 ipm 200-499 ipm 500+ ipm	プリンタ
カラー	カット紙	1 – 10 ppm 11 – 20 ppm 21 – 30 ppm 31 – 44 ppm 45 – 69 ppm 70 – 90 ppm	MFP プリンタ

		90+ ppm	
	ロール紙	<200 ipm 200-499 ipm 500+ ipm	プリンタ
DTP		カラー分類	
カラー (DTP : direct to Press)	4+ color units	2-up 4-up	

* DTP 機市場はデジタル機器市場とは別途に集計します。

POD 印刷市場（プリントサービスプロバイダー）の分類定義



- * 黄色の部分が POD を利用するプリントサービスプロバイダーである。
- * 円で囲まれた部分が一般的に印刷業としてまとめられ、業界分析でフォーカスするエリアである。

上記のようにプリントプロバイダーを分類する名称として商業印刷、軽印刷業、フォーム印刷などの名称がよく使用されている。しかし、いずれも統一した基準に基づくカテゴリー名称ではなく、製造する印刷物や企業規模、所有する印刷機などの設備、企業成立の起源などの要素をそれぞれ複合し共通する特徴を有する企業をまとめて称しているものである。

従って、工業統計のような印刷企業全体をカバーする統計調査では、従業員規模でのみ事業所や企業を分類しており、これらの印刷企業分類は使用されていないケースが多く見られる。

本報告書では、業種別にデジタル印刷機導入の特徴を抽出するためにプリントプロバイダー分類を行っているが、以下にその定義を述べる。

- 商業印刷

全印工連では、商業印刷物売上高が全体売上の50%以上を占める企業を商業印刷企業として分類している。商業印刷企業では多様な印刷物を手がけているが、一般には販促用印刷物を中心とした高画質でフルカラーの印刷サービスを中心に提供している企業が商業印刷業と呼ばれることが多く、本報告書の印刷業の分類もこれに準じている。カタログ、チラシ、ポスター、POP、ダイレクトメールなどの販促用印刷物の他には、雑誌、書籍、新聞などの出版物や、名刺等の事務用印刷物などを手がけるケースもある。

- デジタル印刷(デジタル印刷を主とし、一部オフセット印刷も行っている会社も含む)

印刷企業の分類として、これまで一般的には「デジタル印刷企業」という分類は使われていないが、自らを「デジタル印刷専門企業」とする印刷企業が現れている。自社の主要な印刷業務をデジタル印刷機で処理する印刷企業である。特に総売り上げの何10%以上というような定義はない。

- 軽印刷

主に菊四裁判など小型のオフセット印刷機を所有し、名刺、ハガキ、伝票などの事務用印刷物を中心に比較的簡単な印刷物を短納期で印刷する企業が典型である。短納期、小ロットという印刷物発注条件があるために、デジタル印刷機も中低位機種を中心に使用して同様な業務を行っている。軽印刷会社ではカラー化が課題であるため、カラーオフセット/デジタル印刷ビジネスを手がける企業が増加しており、商業印刷との境界が曖昧になりつつある。そのため、今回の調査では商業印刷のカテゴリーに含める。

- フォーム印刷

フォーム印刷業は、コンピュータ出力用ビジネスフォームを中心にカスタム伝票、複写伝票を印刷する業種であり、顧客は一般企業、データ処理会社(データセンター)である。フォーム印刷業は、企業にコンピュータが導入され始めた1965年頃に出てきた業態である。最初は、企業のコンピュータ室に印刷専任の担当を派遣することから始まり、自ら印刷設備を導入してコンピュータ用フォーム印刷を引き受けるビジネスに発展した。

- 出版印刷

出版印刷企業は書籍を中心とした出版物の印刷業務を主業務としている企業である。出版印刷という呼び方は、一般的にはあまり使用されない。出版印刷を行う印刷機を使用して商業印刷も行われるのが一般的であり、商業印刷の売上金額が出版印刷より大きい企業が多いためと思われる。

- 総合印刷

全印工連の経営実態調査の集計では、商業、出版、事務用、証券などいずれの印刷物の出荷額も50%以上にならない企業を総合印刷企業と分類している。本報告書の定義もこれに準ずるが、これに加えて印刷だけではなく後処理もおこない、いわゆるワンストップで印刷製品を提供できる企業を想定している。どの印刷物カテゴリーの仕事も満遍なくこなせる印刷企業であることで、大手印刷企業がこのカテゴリーの大部分を占める。

- 複写業

複写業の企業は、顧客の紙原稿をコピー機によって複写するサービスを提供する業者である。主に企業、官公庁といった顧客から直接受注している。一般に規模は小さく零細企業が中心となっている。

- 製版業、サービスビューロー

製版業は、デザイナー等が制作した版下を加工して、カラー印刷に使われる刷版作成用のフィルムを生産する業者である。サービスビューローはPostScript DTPが普及する過程で現れた新興業種で、PostScript 対応のイメージセッターの発明によって登場した。主にPostScript データから刷版作成用のフィルムを出力するサービスを提供している。

- ビジネスドキュメントサービス（ビジネスコンビニ）

ビジネスドキュメントサービスはオフィスで事務処理上利用する物品やサービスをワンストップ化して提供している。コピー、印刷、文具販売、DPE など、これまで分野によって分かれていた店舗の機能を集約し、24時間営業、短時間仕上げ、ネットサービスといった利便性が付加されている。

- インプラント

企業内で印刷物の提供を行うための部門/部署で、専任の担当者が管理するデータ出力センター、印刷センター、コピーセンターで、最近ではコピーサービスなどを行うメールセンターなども含まれる。

印刷サービスの大分類

本報告書の中で、印刷サービスを大きく以下の3種類に分けている。

- 従来印刷：オフセット印刷と関連プリプレスを含む。
- デジタル印刷：デジタル印刷またはコピーサービスを含む。
- 付加価値サービス：印刷物の管理、梱包、配送などのフルフィルメント、郵送、グラフィックデザイン制作、デジタル資産管理、データベース管理、インターネット/Webサービス、CD制作、設備管理、クライアントトレーニング/コンサルティングなどのサービスである。

ドキュメントの分類

本報告書では、ドキュメントを以下の4種類に分類している。

- 事務用ドキュメント：プレゼン資料、提案書、契約書、取扱説明書、報告書、議事録、等
- 販促用ドキュメント：ダイレクトメール、ちらし、フライヤー、カタログ、パンフレット、ポスター、バナー、POP 等
- 出版ドキュメント：出版物、学術資料、技術仕様書、教材、問題集 等
- 取引ドキュメント：納品書、請求書、利用明細書、納付書（年金、税金など）、督促状、等

InfoTrends 社について

InfoTrends 社は、米国のボストンに本社を置き、北米、西ヨーロッパ、アジアの各地域に調査拠点を持つグローバルリサーチ企業です。(株)インフォトレンドズは InfoTrends 社の日本法人で日本および中国の調査活動を統括し、ワールドワイドレポートの販売、サポートをおこなっています。

InfoTrends 社は、ワールドワイドでデジタルイメージング、ドキュメントソリューション市場に特化した綿密な調査活動を展開し、お客様に市場規模、市場予測、市場動向の分析結果のレポートを提供しています。このレポートは関連する業界のお客様が市場の現状と動向を把握し、的確にビジネス機会をとらえ、ビジネス拡大戦略を立案するために非常に有効な情報源となります。

著作権について：

なお、本マルチクライアント報告書の掲載内容の著作権は株式会社インフォトレンドズに帰属します。報告書の文章、写真、図表、市場データ等的一部分または全部を株式会社インフォトレンドズの同意を得ずに転載して使用することはできません。

本件に関するお問い合わせ、調査参加申し込み先：

株式会社インフォトレンドズ 企画営業部

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-3-18 広尾オフィスビル

Tel : 03-5475-2663/ Fax : 03-5475-2710 Email: info@infotrends.co.jp